

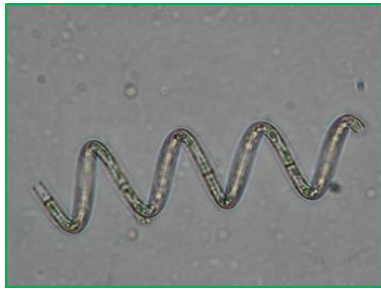
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第10報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係  
平成30年6月4日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

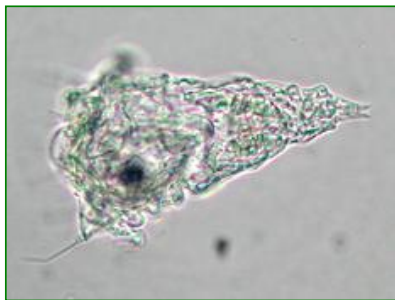
植物プランクトン第1優占種



*Aulacoseira ambigua*  
(アウラコセイラ)  
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。殻の側壁に斜めに走る点紋列がある。群体の両端の棘はほとんど見られない。本種は規則正しいらせん状を形成する。

動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta tremula*  
(ホソドロワムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の趾(あしゆび)は微小である。頭部両端の耳は小さい。体長は100～250μm程度で、ドロワムシのなかまでは小型種。胴の表面に密な縦の条線があるのが特徴である。

### コメント

植物プランクトンは、珪藻に属するアウラコセイラ(*Aulacoseira ambigua*)が先週に引き続き3週連続で優占種となった。体積で見ると褐色鞭毛藻に属するクリプトモナス(*Cryptomonas* sp.)が優占種となった。網別の体積では、珪藻類が総体積の約40%、緑藻類が約33%、褐色鞭毛藻類が約22%を占めた。動物プランクトンでは、ワムシのなかまのホソドロワムシ(*Synchaeta tremula*)が200個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは、21,000細胞/mlとなり、輝橙色のものが68%、深赤色のものが32%であった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
ワムシ類	<i>Synchaeta tremula</i>	200

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
ワムシ類	<i>Synchaeta oblonga</i>	160

\* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係

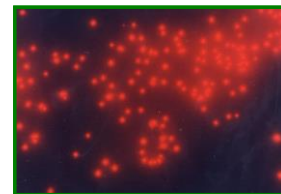
## (2) 植物プランクトン

平成30年6月4日

第10報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(珪) <i>Melosira varians</i>	30		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	280		○
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	450	○	
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	520	◎	
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	30		
(珪) <i>Urosolenia longiseta</i>	50		
(珪) <i>Acanthoceras zachariasii</i>	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	8		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	30		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	3		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	260		◎
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	16		
(緑) <i>Paulschlzia pseudovolvox</i>	16		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	240		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	24		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	3		
(緑) <i>Micrasterias hardyi</i>	6		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	6		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1428	65.7	40.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	3	0.1	4.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	380	17.5	22.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	361	16.6	33.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2172	総体積	2.07E+06
種 類 数	22	(μm <sup>3</sup> )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)  
ただし\*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) ★: 異臭味原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	6月4日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	21,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。